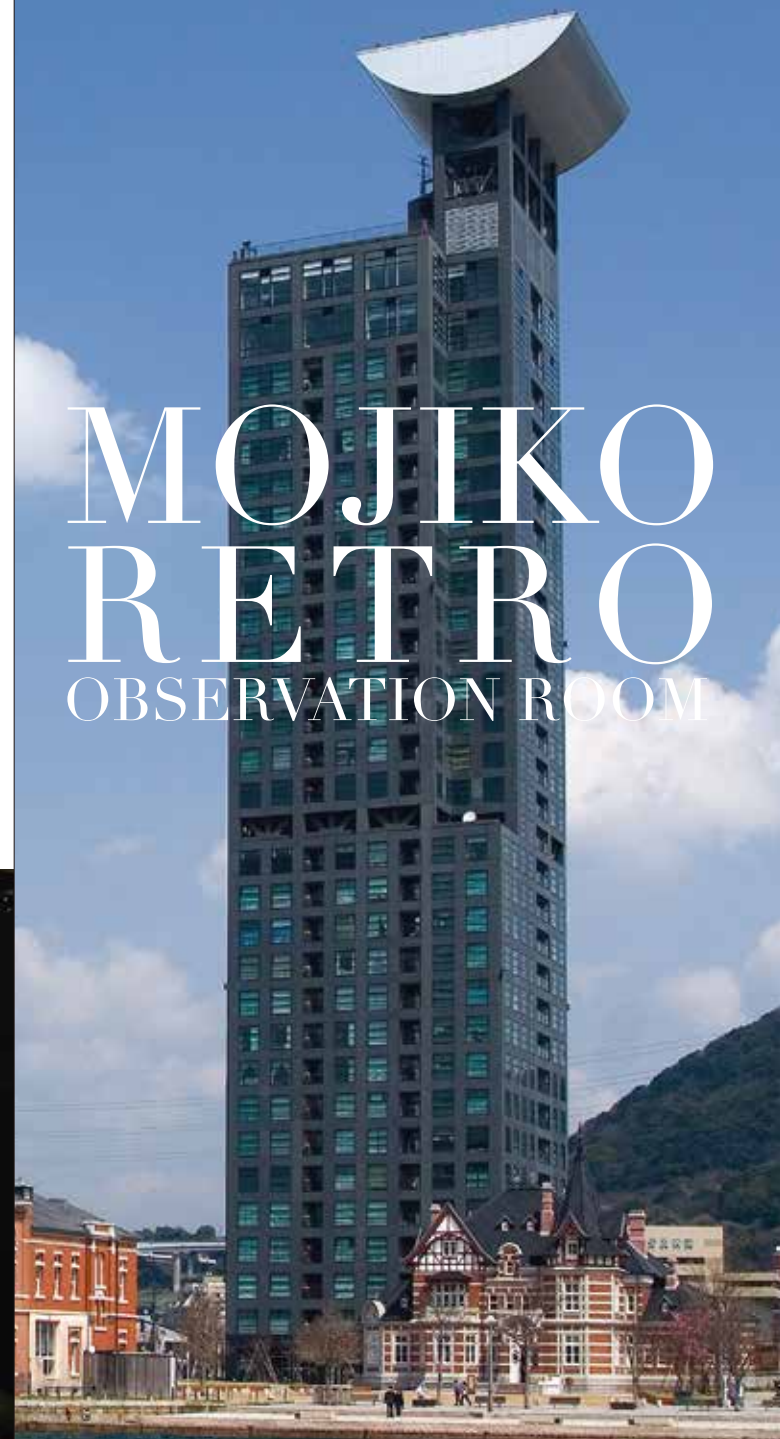


門司港レトロ展望室

MOJIKO RETRO OBSERVATION ROOM



INFORMATION

施設のご案内

高さ/103m
広さ/31階部分466m²
設備/デジタル望遠鏡:2基
専用エレベーター
(20人乗り):1基

利用案内

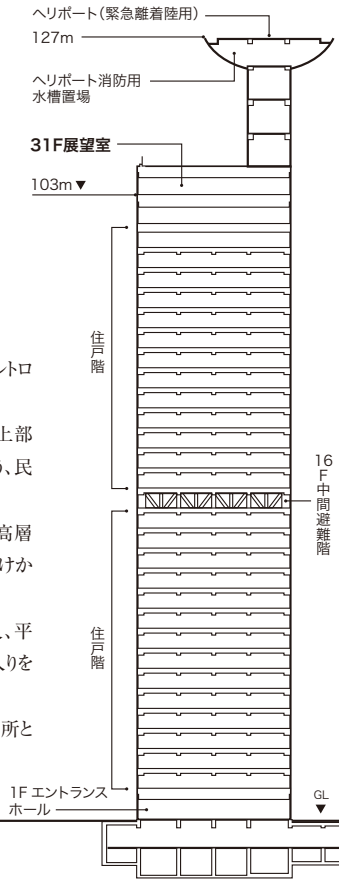
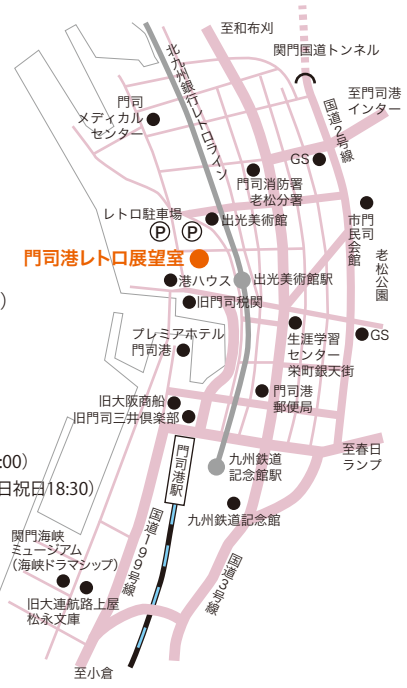
時間/AM10:00~PM10:00
(ご入場はPM9:30まで)
休館日/年4回(館内整備のため)
料金/大人300円・
小・中学生150円
30人以上の団体は
各20%引き
AIR'S CAFE 営業時間/
10:00~17:00(土日祝日19:00)
(オーダーストップ16:30/土日祝日18:30)

アクセス

駐車場/門司港レトロ駐車場
大型バス1,000円/1日
普通200円/h
車/門司港インターから約10分
JR/門司港駅から徒歩5分
新幹線小倉駅から
門司港駅まで13分

お問い合わせは

門司港レトロ総合インフォメーション Tel.093-321-4151



黒川紀章

門司港の背景となる地区に門司港レトロ展望室が完成した。

民間の開発する高層住居棟の最上部を利用して市の展望室を設けるという、民生活方式のユニークな建築である。

市の指導による門司ではじめての高層建築は、背景の山脈の風景をできるだけかきさないという配慮からも生まれた。

100年も経てば、この高層建築も又、平成のレトロとしてレトロの街並の仲間入りをするだろう。

是非共、門司港を見渡す展望が名所となつてほしい。



270 ○ 関門海峡を一望する大パノラマ。

MOJIKO RETRO
OBSERVATION ROOM



黒川紀章氏設計の高層マンション「門司港レトロハイマート」の31階部分に設けた展望室です。高さ103mから関門海峡を一望。真下の門司港レトロの街並みも見渡せる絶景ポイントです。



103m

関門海峡について

関門海峡は、九州の北端(福岡県北九州市)と本州西端(山口県下関市)との間に位置し、西の日本海・響灘(外海)と東の瀬戸内海・周防灘(内海)という2つの海を結ぶ海峡で、S字型に屈曲した最小幅が約650mの狭水道です。海峡内では複雑に潮汐の変化があり、干満の差は周防灘で大きく約3.8m、響灘側で約1.5mです。この潮位差が海峡内の急潮流や複雑な潮汐の原因となり、関門海峡の1番狭い早瀬瀬戸(はやとものせと)では10ノット(時速約18km)を越える潮流が発生します。満潮時は西流れ、干潮時には東流れとなり、1日4回約6時間ごとに向きを変えます。

